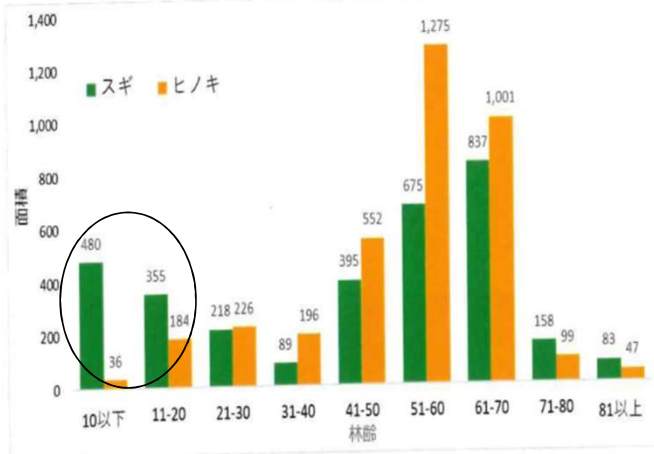


人吉市次世代の森林づくり対策事業補助金

本市においては、現状人工林において杉よりも檜の割合が高いことが特徴であり、球磨ヒノキは、市場価値の高いブランドとして名をはせている。しかしながら、杉と比較して活着までに時間を要し、鳥獣被害を受けやすい檜の植林は、近年避けられる傾向が顕著であり、杉の新植割合が高い状況が続いている。熊本県下で檜の一大産地である人吉球磨において、人工林のバランスを崩すことが危惧される昨今の状況を踏まえ、檜の植林を推進することを通じて、本市の林業振興を図るとともに、檜の産地という地域の特性を次世代に繋いでいくことを目的とするもの。



※出典：熊本県林業統計要覧(R4年度)より集計

※近年、杉の新植割合が高くなっている。

所有者等

- ・造林（檜）
- ・附帯施設（防護ネット）

森林環境保全直接支援事業

（事業費の68%）

標準
経費

or

実行
経費

× 1.7 × 4/10

査定
係数

国3/10
県1/10

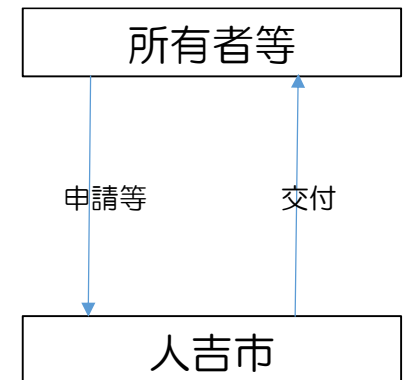
+

人吉市次世代の森林づくり対策事業補助金

事業区分	補助対象	補助率及び補助限度額
再造林事業（檜）	国・県の補助事業の採択を受けた再造林実施面積	補助額の1/2以内 （事業費の16%）
再造林に係る付帯設備事業（防護ネット）	国・県の補助事業の採択を受けた総延長	補助額の1/2以内 （事業費の16%）

人吉市次世代の森林づくり
対策事業補助金

申請の流れ



※くま中央森林組合に申請等を代行してもらったことも可能です。